

勢和小学校だより

発行日：令和7年3月17日 第29号



ブラックサンタの願い

卒業を前に、生活委員を代表して6年生の3人が校長室を訪れ、ブラックサンタの取り組みを来年度以降も続けてほしい旨、要望がありました。

ブラックサンタは、今年度の生活委員会が考えたキャラクターで、これまでクリスマスの手作りプレゼントを全校に配ったり、節分の豆まきを企画したりするなど、全校レクリエーションで活躍してきました。

勢和小学校を楽しい学校に創り上げてきたブラックサンタを、来年度以降も引き継いでほしいので、全クラスに呼びかけたいが、いいだろうかということでした。

プレゼンテーション用に資料も作り、校長室で見せてもらいましたが、生活委員会の仕事の中身や全校遊びの企画から運営までの手立てなど、分かりやすくまとめていました。

ブラックサンタのなり方

その1
生活委員になる。(新5、6年生じゃないと委員会に入れません。次に新2年生から4年生になる人は心構えをして待っていてください。)

その2
ブラックサンタの計画をする
※計画は先生に頼らずに自分たちでしましょう。

その3
生活委員の担当の先生からブラックサンタをし

ていいかの審査を受け、許可をとる

その4
12代目ブラックサンタとなる。

以上の4つのステップを踏んでブラックサンタの後継者となれます!

最後には、以下のようなアピールで下級生たちに思いを伝えていました。

大事なのは、自分たちで企画する力です!!
主に、(行動力)(企画力)(気持ち)
この3つが重要となります!
みなさんでこの歴史を紡いでいきもっと良い物にしてってください。みなさんの活躍に期待しています!!

現在の中1生が卒業する時にも、
「全校が、明日も学校に行きたくなるように、来年度以降も全校遊びを続けてほしい。」

と、要望がありましたが、今年度も今回紹介したような願いを卒業生から聞かせてもらい、最上級生としての強い思いを2年連続して実感することができました。本校の学校教育目標「自ら楽しさを創り出す勢和の子」そのものだ実感しています。



児童対象 学校満足度追調査結果

自分のことが好きだ（自分にはいいところがある、人のために頑張っている。）				
	A	B	C	D
今回合計	77.6%		22.4%	
前回合計	76.8%		23.2%	

困ったときには先生や家族に相談している。				
	A	B	C	D
今回合計	78.1%		21.9%	
前回合計	78.8%		21.2%	

12月に実施した児童対象 学校満足度調査において、否定的回答が多かった項目について、重点的に取り組みを行い、先日、その効果を確認するために追調査を行いました。

調査を行った項目は「自分のことが好きだ」（自己肯定感の涵養）、「困ったときには先生や家族に相談している。」の2項目です。

結果として、3ヶ月間の取り組みでは大きな変化はありませんでした。

この結果から、自己肯定感を涵養するために、「弱音が出せる、争いがないなど教室や学校が安心できる場所であること」、「『わかった、できた、上達した。』と、子どもが自分の成長を感じていること」、「当番などの役割を果たす充実感を覚えていること。（※周囲から労い、感謝の気持ちが発信されるリレーションが確立されていること。）」などを意識し、学級経営をさらに進めていく必要があります。

また、子どもたちが学校内で相談しやすいように、子どもたちの困り感やわからなさを共感し、一緒に考えていこうとする職員の姿勢を大切にするとともに、子どもたちの成長を見逃さず「イイね」を伝えるなど、「先生は自分たちを見てくれている」という安心感を与えられるよう配慮したり、様々な職員が言葉がけを行っていきな

堂々と卒業して行ってほしい

先日、6年生一人ひとりに卒業証書を渡す練習をしました。

緊張気味で呼名に対して大きく返事できなかったり、式場に設定された中央演台に向かって歩く時に下を向いてしまったり、証書の受け取りに戸惑ったり、いくつかのハプニングはありましたが、全員に共通して言えることは、誰もが真剣な表情であることです。

真剣だからこそ、失敗しても何も気にする必要は

ないし、一生懸命さがよく分かります。

最近の学校だよりでは6年生の勇姿を紹介してきましたが、紹介したい姿はまだあります。

丁寧に掃いたり隅々まで雑巾をかけたたりして黙々と掃除に取り組んだり、横断のために停止してくれた車に向けて深々と挨拶したり、迷惑をかけたときに素直に「ごめん」と言えたり、下級生の手本となるような姿がたくさん浮かびます。

明日の卒業式でも、きっと凛とした姿で卒業証書を受け取り、立派に卒業していくことでしょう。



